

# 潮音寺だより

第 262 号  
平成 17 年 8 月  
電話 052-671-4831  
ファックス 052-671-4856  
E-Mail:choonji@aichi.email.ne.jp

〈ホームページ〉 <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-10-11

【出典】  
『往生要集』巻上第四  
正修念仏第三作願門 他

誓提は無上なれど  
を願う証せんこと

虫けらでもない

鳥獣でもない

まして

木石ではない

人として

生を受けたからには

より人間らしく

生きなくてはならない

日々  
切瑳琢磨し  
粉骨碎身努力せよ

しかし

どうにも

先に進めないときは

弥陀に

お任せなさい

それが念仏者

ありがたいことです

写真：葉山 幸

## お盆と閻魔の妹

うだるような暑い夏は、ご先祖様をお迎えする、お盆の季節でもあります。このお盆は、日本の年中行事のなかでも、正月と同じくらい大切なものとして、綿々と私どもの心の中に、受け継がれてきました。

「盆」「お盆」と略していついことが多くですが、正しくは「盂蘭盆」その法要のことを「盂蘭盆会」といいます。わたしが学生の頃は、さかき吊りの苦痛を意味するといわれる、サンスクリット語の「ウラバンナ」の音写（漢訳では倒懸）であると教わってきましたが、どうもそうではなかったようです。近年の研究により、「イランの言語で、靈魂を意味する「ウルヴァン」が原語だとする説が有力になってき

ました。

中国で作られた偽経ともいわれておりますが、『盂蘭盆経』には、次のような説話があります。

目連尊者が、餓鬼道に落ちて苦しむ母親を救おうとし、仏陀の教えに従い、七月十五日の自恣の日（夏二か月の修行の終わる日）に百味の飲食を盆に盛り、修行を終えた僧たちに供養したところ、その僧たちの偉大な功德によって、母親を救うことができたといいます。

この故事によつて、七月十五日の盆供養は、現在の父母のみならず、七世の父母をも救いつると考えられ、中国で、そして日本にも七世紀のなかば以前に伝わり、農耕儀礼やそれにまつわる祖霊信仰とが溶け込み、形づくられてきた

ものと考えられています。日本で多くの場合、月遅れの八月にお盆の行事が行われるのも、やはり、長い歴史の中で、その風土に合うように深められてきたからでしょう。

このお盆の行事は、とかく合理的に考えがちな現代人には、だんだんと疎遠になる傾向にあります。が、今風にいついものの、「自分探し」の、絶好の機会になるのではないかと思うのです。先祖無くして自分はありません。先祖、両親、兄弟姉妹、親戚といったつながりを、お盆という行事を通じて再認識することで、自分自身をしっかり見つめることができると思っています。

また、最愛の人と死別した方にとって、このお盆は、亡き人を再

び我が家に迎え、その人と会うことのできる、かけがえのない三日となるのです。

ところが、七月一日を盂蘭盆朔日とよび、この日からお盆が始まるという地方があります。「お盆には地獄の釜のふたが開く」という話を聞いたことのあると思います。が、その伝承に由来するものではありません。そして、そのふたを開けるように命令するのが、「存じ、閻魔大王であります。

私どもがよく知っている閻魔大王は、その衣装から中国的な印象を受けますが、そのルーツは、インドの神話に出てくるジャムの人間第一号のヤマであります。

最初の人間であったということでは、最初の死者でもあったわけで、彼は死後、天界の道を切り開いた

といえます。のち、多くの死者たちがその天界にやってきて、ヤマはその楽園をつくります。ところが、その楽園の天界に、悪人も来るようになったので、ヤマは地下に牢獄をつくり、悪人を收容して、しっかりと管理するようになりました。つまり、そのヤマが、仏教にはいって、地獄の支配者としての閻魔大王になったのです。

実は、このヤマには、ヤミーという双生児の妹がいました。男と女、この世に一人しかいないものですから、兄と妹という関係ですが、結婚をしました。

やがて、ヤマは死に、妹であり妻であるヤミーはひどく悲しみ、神々は、早く忘れるように諫められども、ヤミーは、それができませんでした。ヤミーは、ずーっ

と「ヤマはきょう死んだ」と言い続けていました。

ところが、その当時、まだ夜がなかったのです。それで、神々はヤミーのために、夜を創りてやりました。夜が来るようになって、ヤマの死は、昨日になりました。ヤミーは、「きのう、ヤマが死んだ」と言えるようになりました。

そして、その昨日が「昨日」になり、さらに昨日を重ねるにつれて、ヤミーはヤマを忘れることができたのでした。

悲しみは、「時間」が癒してくれるというのを教えてくれる説話であります。お盆は、悲しい思い出を、再び思い起こすための仏事です。相反するようではあります。人間は、一瞬のうちに、賢く、強くなっていけるのです。

# お盆の行事を知らせ

◎精霊お迎え

○平和公園墓地 8月12日 午前6時～正午

○潮音寺納骨堂 8月13日 午前6時～正午

◎棚経

一応、例年どおりにお願ひいたします。

ご無理を願う場合があるかもしれません。  
その節はどうかよろしく。

◎盆施餓鬼会

8月19日(金) 午後1時30分～2時30分

# お彼岸の行事を知らせ

◎彼岸施餓鬼会

9月23日(金) 午後1時30分～2時30分

各位より賜り、  
本当に有り難く  
存じ上げます。

その都度、ご芳  
名を載せて感謝  
の意を表すのが  
本意ではありま  
しょうが、工事  
完成時に、まと  
めてさせて頂く  
という  
ことと  
ご了解  
頂くよ

うお願ひ申し上げます。

設計が一応できました

ので、三つの工事業者にて、

見積の依頼をしております。七月

末には、決めたいと思っていま

す。紙面にて、今後の進行状況を、

## 住職通信

心から  
その両親を  
尊敬できる  
子は幸福である



## お盆

真菰まぐものご  
ザ、茄子なすや胡  
瓜かぼちゃに守まもり  
をつけた牛や  
馬うま、ご馳走ちそうな  
ど供え、ご先

随時ご報告させていただきますの  
で、宜しくお願ひいたします。

## ▼募集

当山の平和公園墓地、次の要領  
で、石塔建設希望者、募集中です。

◎墓地永代使用料 四〇万円

◎年間護持会費 五千円

なお、永代使用料は、契約時、護  
持会費は、毎年、八月十二日まで  
にお支払いいただきます。

祖をお迎え下さい。

▼打ら水の玄関先に

午睡なみだネコ  
沐魚もくぎょ

## ▼感謝

宗祖法然上人八百回大遠忌記念  
事業への寄付金を、多くの檀信徒

雑記

